

HanjaTimes

ハンジャタイムズ
令和 8 年
1 2026
January

バックアップがあるのに詰む？
社長を装う LINE グループ作成依頼詐欺メール
スマホの写真管理の新常識
4 択クイズ

株式会社ハンジャ・ネットワークス

〒901-2301 沖縄県中頭郡北中城村島袋 480 番地

TEL 050-5810-5929 / FAX 098-989-7715

バックアップがあるのに詰む？

いざという時のバックアップの復旧失敗を防ぐ

「バックアップは取ってます」——

それでも、いざトラブルが起きたときに復旧が進まず、業務が止まってしまうケースは少なくありません。理由はシンプルで、バックアップは“保存できているか”よりも、必要なデータを、必要な時間内に、確実に復元できるかが本当の価値だからです。

近年は、誤削除・機器故障に加えて、ランサムウェア（データ暗号化）や不正ログインなど、復旧を急がされる事故が増えています。特に怖いのは「バックアップも一緒にやられる」パターンです。例えば、同じネットワーク上の NAS へバックアップしていた場合、暗号化が連鎖してバックアップまで使えなくなることがあります。

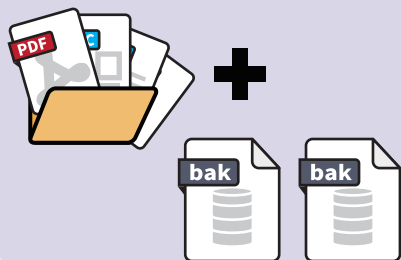
そこで、まず押さえない基本が 3-2-1 ルール です。

3-2-1 ルールって？

3-2-1 ルールとは、バックアップの基本中の基本。**全部消える**を防ぐための最低限の考え方になります。

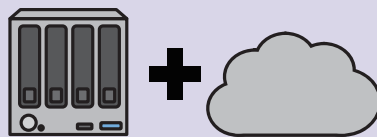
③ データは合計 3 つ

原本+バックアップ 2 つ



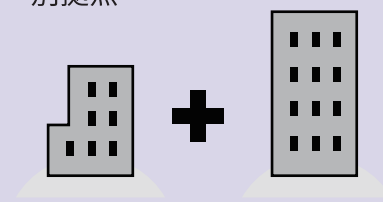
② 媒体を 2 種類に分ける

NAS+クラウドや
NAS+外付け HDD など



① 1 つは別の場所に置く

- ・オフサイト
- ・別アカウント
- ・別拠点



ここで重要なのは「オフサイト」の意味です。同じ建物・同じアカウント・同じネットワークにあると、火災・盗難・不正アクセス・暗号化の影響をまとめて受ける可能性があります。

“物理的に別” または “論理的に別（別アカウント・別権限）” のどちらかを必ず作るのが安全です。

復旧できない原因の **9割** は
設計とテスト不足

バックアップが機能しない原因は、実は高度な技術よりも“運用の穴”が多い、現場でよくある落とし穴です。

よくある落とし穴



チェックリスト

- ☐ バックアップが 1 つだけ（原本と同じ機器 / 同じ NAS 内）
- ☐ 世代管理がなく、上書きされる（気づいた時には戻せない）
- ☐ 退職・異動で「誰が復旧するか」不明
- ☐ 復旧に必要な ID / 鍵 / 手順が、担当者の中だけ
- ☐ バックアップ対象が増減しても、設定を見直していない
- ☐ 復旧先（どこへ戻すか）が決まっていない
- ☐ 復旧後の確認（正常性チェック）が曖昧

復旧テストが最強

バックアップの価値は **取る** より **戻せる** が大切

おすすめの
手順

まずは最小の復旧テストから

ステップ 1

守るデータの優先順位を決める（30 分）

下記のように「止まったら困る順」にトップ 3 を決めます。

- 例
1. 会計・請求関連（会計ソフト / 請求書 PDF / 入金管理）
 2. 顧客情報（顧客台帳 / 案件 / 見積）
 3. 共有フォルダ（業務資料 / 設計図 / 写真 / 契約書）

ポイントは「全部やらない」こと。まずは“最重要 3 つ”で OK です。

ステップ 2

復旧の“ゴール”を定義する（15 分）

どこまで戻れば業務再開できる？（前日まで / 1 週間前でも OK 等）

どこへ復元する？（別 PC / 新 NAS / クラウドの一時領域など）

ステップ 3

代表フォルダだけ復旧する（60 分）

対象：トップ 3 から代表フォルダを 1 つ選ぶ（例：請求書フォルダ）

作業：実際に復元して開けることを確認

記録：所要時間、つまづいた点、必要な ID / 手順をメモ

「テスト」というと大がかりに聞こえますが、部分的に実践し少しずつコツを掴んでいけば大丈夫です！

これで「復旧できるかどうか」が現実として見えます。多くの場合、ここで「必要なアカウント情報が見つからない」「復元先の容量が足りない」「世代が足りず戻したい時点に戻れない」など、改善点がはっきりします。

バックアップ改善の“現実解”：3-2-1+世代+権限分離

復旧テストで見つかった課題を、次の 3 点で埋めるのが堅実です。

世代管理

最低でも 7 世代

- 日次で最低 7 世代、可能なら月次も残す
- 「暗号化に気づくのが遅れた」場合でも戻せる余地が増えます

権限分離

バックアップは“別の鍵”で守る

- バックアップ先は、普段使う PC アカウントと分ける
- バックアップ先に“書ける人”を必要最小限にする

オフサイト

論理的に別でも OK

- 物理的に別拠点が難しければ、クラウドや別アカウントで代替
- 「同時に全部やられる」リスクを減らすのが目的です

社内で共有しておく、いざというときに助かります。最低限のバックアップ記録を、みんなで共有しておきましょう。

作業日

バックアップ対象：_____

保存先（その 1）：_____（世代：____）

保存先（その 2 / オフサイト）：_____（世代：____）

復旧担当：_____ / 代替：_____

復旧手順の保管場所：_____

次の復旧テスト日：____年____月____日（四半期に 1 回）

社長を装う「LINE グループ作成」

昨年末頃から、社長や役員になりすました連絡により、経理担当者などがだまされて送金等の被害につながる事案が各地で確認されています。最近では、メールで「LINE グループを作成し、参加用 QR コードを送ってください」と依頼し、LINE 上で **社長の指示** を装って次の行動へ誘導する手口が増えています。

本記事では、この手口の流れと見分け方、そして中小企業でもすぐに取り入れられる対策を、できるだけ分かりやすくご紹介いたします。

1 実際に届いた「なりすましメール」例

今回、弊社にも次のようなメールが届きました（要旨）。差出人アドレスが社内ドメインと違ったため、社長へ電話確認して詐欺と判明し、対応しませんでした。

この文面の怖い点は、「仕事の指示」に見せながら、実際には **LINE に移動させることが目的** になっていることです。



社長の新城です。

まず LINE グループを作成し、参加用 QR コードをメールで共有してください。業務指示があります。現時点では他メンバーは招待しないでください。

2 手口の全体像：「LINE 誘導」の次に起きやすいこと

注意喚起では、攻撃者はまず LINE グループに参加し、その後に送金や情報提出などへ誘導するとされています。たとえば、次のような要求が続くケースがあります。

至急の送金

立替・仮払い
緊急決済など

振込先口座の変更

取引先を装い
「口座が変わった」等

請求書や契約書の再送要求

社内情報を引き出す目的

URL のクリックやアプリ導入の要求

不正サイト・不正アプリ誘導

特に「口座変更」や「通常と異なる支払方法の指定」は、典型的な BEC（ビジネスメール詐欺）の特徴として挙げられています。重要なポイントは「LINE グループ作成」や「QR コード送付」は、被害の“入口”であることが多く、ここで止められると被害を未然に防ぎやすくなります。

3 見分けるためのチェックポイント（1 つでも当てはまれば要注意）

次の項目のうち、1 つでも当てはまる場合は、詐欺を強く疑い、いったん作業を止めてご確認ください。

- ☐ 差出人アドレスが、社内ドメインや登録済みアドレスと異なる
- ☐ 「至急」「内密」「他メンバーを招待しないで」など、相談を避けさせる文言がある
- ☐ LINE・SMS など、通常利用していない連絡手段へ移動させようとする
- ☐ 送金・口座変更・請求書再発行など、金銭に関わる指示がある
- ☐ 稟議や承認など、社内の通常フローを飛ばす指示がある

～“QR コードの送付” が、送金詐欺の入口になるケースが増えています～

依頼詐欺メールにご注意ください

4 今日からできる BEC（ビジネスメール詐欺）対策の 3 つの柱

運用ルール

二経路確認（折り返し確認）を徹底する

最も効果が高いのは、確認のルールを社内で明文化することです。

送金・口座変更・緊急決済・外部ツール誘導は、必ず電話で本人確認する

電話は、社内で登録している番号へ折り返す（メールに記載された番号は使わない）

経理業務は、可能な範囲で上長＋もう 1 名のダブルチェックとする

警察の注意喚起でも、「いつもと異なる支払方法が指示された場合は電話等で事実確認を行う」ことが推奨されています。

技術対策

なりすましメールを“届きにくく、気づきやすく”する

メールは完全に防ぎ切るのが難しいため、次のような「二段構え」が有効です。

SPF / DKIM / DMARC の整備（なりすまし耐性を高める）

「表示名が社長・役員」×「外部ドメイン」のメールを警告表示／隔離

「LINE」「QR コード」「至急」「口座変更」等のキーワードを条件に、注意文を自動付与

IPA でも、BEC 対策として「技術対策と運用対策の併用」が重要とされています。

社内周知

経理だけの課題にしない

この手口は、経理だけでなく、総務・営業事務など「支払いに関わる可能性のある担当者」を狙います。月 1 回の短い周知でも構いませんので、次の 3 点を共有しておくくと効果的です。

- 「LINE 誘導＋内密」は詐欺のサインになりやすい
- 送金・口座変更は例外なく折り返し確認する
- 迷ったときは“止めて相談する”のが正解

＼ QR コードを送ってしまった ／

QR コードを送った／読ませた 場合は、相手に あなたの LINE にログインされる（乗っ取られる）きっかけになることがあります。特に“QR コードログイン”は画面自体は本物でも、他端末ログインの操作なので要注意です。

まずやること！

「ログイン中の端末」を確認して、知らない端末をログアウト

「ログイン許可」をオフにする

LINE のパスワードを変更

LINE で連携している他サービスも確認

LINE のパスワードを変えても、外部サービス側は自動ログアウトされないことがあるので、LINE ログインしている Web サービス等もログアウト／確認します。

すでに勝手にメッセージが送られた！！

友だち・社内に一斉連絡しましょう

「先ほど送った URL / 依頼は私からのものではありません。開かない・返信しない・情報を入力しないようお願いします。」などと連絡し、早めに二次被害の拡大を防ぎましょう

プリペイド購入・送金など金銭被害が出た！！

迷わず警察へ相談

#9110（沖縄県警相談専用電話：098-863-9110）へ

トーク画面／グループ画面のスクショや QR コード画像、不審なメッセージや要求内容などをスクショし状況を正確に伝えられるようにしておきましょう

「グループ招待の QR」っぽく見せて、実際は他端末（犯人の端末）にログインさせる QR を読ませる手口が知られています。相手の心理を突いて「急がせる」「相談させない」ことで判断力を奪う点にご注意ください。

弊社では、メールのなりすまし対策（SPF/DKIM/DMARC）や迷惑メール対策、社内ルール整備のご相談も承っております。気になる点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

スクロール地獄

写真が多すぎて探せない！

スマートフォンで写真を撮るのは、今や日常の一部です。家族の写真、仕事の資料、LINE のスクリーンショットなど、用途はさまざま。その一方で「写真が多すぎて探せない」「容量が足りない」と感じている方も多いのではないのでしょうか。実は、スマホの画像管理はコツさえ押さえれば、誰でも簡単に整えられます。

自分で整理しないのが正解？

画像管理で一番大切なのは、「全部手作業で整理しよう」と思わないことです。

iPhone の「写真」アプリや、Android で使われる「Google フォト」には、写真を自動で分類してくれる機能があります。人物、風景、書類、スクリーンショットなどを自動で分けてくれるため、検索欄に「書類」「海」「領収書」などと入力するだけで、目的の写真がすぐに見つかります。まずはこの機能に任せるだけで、写真管理は一気にラクになります。

スマホの写真は **自動分類** を活用すると管理がシンプルに

Android：Google フォト／iPhone：写真（iCloud 写真）

※どちらも「クラウドに保存」しつつ、AI が写真を自動で整理してくれます。

※表示の違いはありますが、できることはかなり共通しています。

人物ごとにまとめる（顔グループ）

同じ人（またはペット）っぽい写真が自動でまとめる
名前を付けて、あとから「人」で探しやすくなります

場所で探せる

写真に位置情報があると、旅行先・地域ごとに絞り込みできます
地図からその周辺の写真をまとめて見られます

モノ・シーンで探せる

「海」「料理」「犬」「看板」など、写真の内容をキーワードで検索しやすくなります
（検索精度は完璧ではありません）

スクショ・書類を自動でまとめる

スクリーンショットや書類などが、領収書など分類され見つけやすくなります

思い出（Memories）が自動で出てくる

時系列で「この時期の写真」をまとめた振り返り表示が出ます

注意点

自動分類は便利ですが、誤認識・漏れがゼロではありません

重要な写真は「お気に入り★」など、自分でも印を付けておくとう安心です

写真を最短で “探せる” ようにする コツ

- ☒ 位置情報を ON にする
- ☒ 人物に名前を付ける
- ☒ 重要写真は★の目印を付ける



Android（Google フォト）の特徴

Google フォトの AI で、人物・場所・内容の検索がしやすい
バックアップ済みの写真を端末から削除して、容量を空ける機能が使える場合があります。
生成 AI の「Ask Photos（写真に質問して探す）」は、機能が追加・改善される途中のため、時期により使えない場合があります。

iPhone（iCloud）の特徴

iPhone/iPad/Mac の「写真」アプリで自動分類され、iCloud 写真で同期されます。
重複写真を検出して「重複項目」として整理できる場合があります。
「画像を調べる（Visual Look Up）」で、写真の中身に関連する情報を表示できる場合があります。

気づけばパンパン？ スマホの容量が足りない！

容量不足を感じたら動画から見直す

「容量が足りない」と感じたら、まず動画を確認しましょう。動画は写真に比べて容量が大きく、数本削除するだけでも空き容量が増えます。また、「最近削除した項目」を空にしないと、実際には容量が空かない点にも注意が必要です。

増え続ける原因はスクショ？ 削除ルールを決めよう

写真が増えすぎる最大の原因は、実はスクリーンショットってことが多いです。

地図やメモ、あとで見るつもり画面など、一時的な目的で撮った画像は、用が済むと不要になります。

おすすめは、週1回または月1回「スクリーンショット」アルバムだけを確認すること。

ピンボケ写真や連写の失敗写真も一緒に削除すると、短時間でスッキリします。5分程度で終わる作業なので、習慣化しやすいのもポイントです。

写真が消えたら大惨事...バックアップは“2系統”が安心（クラウド保存は必須）

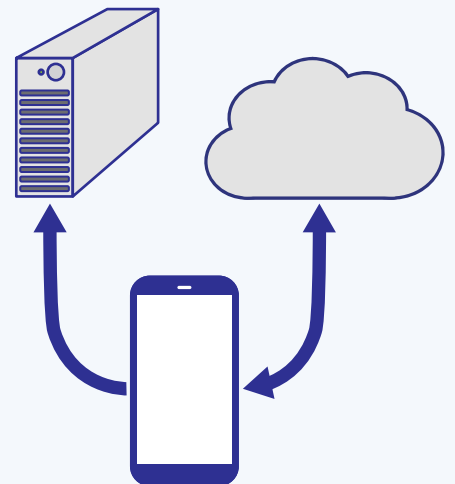
スマホは精密機器なので、突然壊れたり、紛失したりすることがあります。

もし写真がスマホ本体にしか入っていないと、思い出や仕事の記録が一気に消えてしまう可能性もあります。

だからこそ、写真のバックアップは必ず設定しておくのがおすすめです。

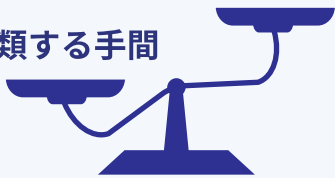
特に安心なのは、バックアップを“2系統”で持つこと。

クラウド1本だけだと、同期ミスや削除の連動で思わぬ痛手を受けることがあるので、たとえば「クラウド+PC/外付け/NAS」にしておけば、どちらかに不具合があっても被害を抑えられます。



探すメリット

分類する手間



アルバム分けは実は最小限がベスト

整理しようとしてアルバムを作りすぎると、かえって探しにくくなります。

おすすめは以下のような分け方で3~5個程度がおすすめです。

家族

旅行・イベント

仕事

要保存

完璧を目指さなくていい、それが長続きのコツ



スマホの画像管理は、完璧を目指すと続きません。

クラウドサービスを使えば、写真が自動でクラウドに保存され分類までオートマチック。手間もかかりません。自動分類に任せ、不要な画像を定期的に削除し、大切な写真はクラウド+別の保存先に保管。この3つを意識するだけで、スマホは驚くほど使いやすくなります。

4択クイズ 「本物のメール」 はどれ？

A～Dのうち、本物は1通だけ。

詐欺（BEC）は3通です。各メールに怪しいポイントが3つあります。あなたは見破れますか？



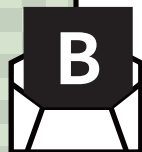
【至急】本日中午に振込手配をお願いします（社長より）

差出人：新城 真宏（代表）<m.shinjo@hanja-netw0rks.jp>
件名：至急：支払いの件（口外しないで）

経理 新城さん
取引先への支払い、今日中に処理が必要です。
社内手続きは後で私がまとめて対応します。まず振込だけ先にお願いします。

銀行：〇〇銀行 △△支店
普通 1234567
名義：力）サポートセンター
金額：1,280,000 円
完了したら返信してください。

※今、会議中で電話に出られません。メールで。



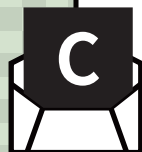
【ご確認】1月分ご請求書のご送付（当社ポータル）

差出人：〇〇商事 経理 <billing@oo-shoji.co.jp>
件名：【ご請求書】2026年1月分／ご確認のお願い

いつもお世話になっております。〇〇商事 経理です。
2026年1月分のご請求書を当社請求ポータルに掲載しました。

- ・請求書番号：INV-2601-0142
- ・支払期日：2026/02/28
- ・お問い合わせ：従来通り、代表電話または担当営業まで

※セキュリティのため、メールに添付は行っておりません。
（アクセスは、貴社で保管のブックマーク／当社公式サイトの「請求ポータル」からお願いします）



【重要】振込先口座変更のご連絡（次回以降）

差出人：〇〇商事 受注担当 <sales@oo-shoji.co.jp>
件名：【重要】振込先変更（次回請求より）

平素より大変お世話になっております。
振込先口座が変更となりましたのでご連絡いたします。
次回お支払い分より、下記へお願いいたします。

銀行：□□銀行 ×× 支店
普通 7654321
名義：オオショウジ（カ）

※確認のため、このメールに返信で「承知しました」とお送りください。



【Re: 請求書の送付】添付の差し替えをお願いします

差出人：取引先 経理 <invoice@partner-billing.com>
件名：Re: 請求書の送付（修正版）

いつもお世話になっております。
先ほどの請求書に誤りがありましたので、修正版を添付いたします。
恐れ入りますが、こちらの内容でご対応をお願いいたします。

添付：Invoice_2026Jan.zip
パスワード：1234



解説 詐欺メールの怪しいポイント

A（なりすまし＋緊急送金）

ドメインが微妙：hanja-netw0rks.jp（o が 0）など“見た目が似てる”

「口外しない」「会議中で電話不可」＝確認させない誘導

社内手続きスキップを要求（承認フロー破壊）

B（本物のメールです）

C（振込先変更＝BECの王道）

口座変更をメール一本で通知（電話確認がない）

「返信で承知」など証拠を作らせて正当化しがち

名義が途中で切れている等、細部の雑さ

D（マルウェア／認証情報狙いの添付）

zip 添付＋簡単すぎるパス（1234）＝典型

そもそも「修正版」名目でファイル実行を促す

本文が短く、検取情報や請求番号などの具体性が薄い